を調査、研究し、それら

よび社会環境の発展過程 の生活と、自然、文化お

存、育成、展示すること の遺産を現地において保

理能力が低下している

ンターは老朽化が進み処

について聞きたい。 -の建設計画の進捗状況 が、次期環境事業センタ

ど、広域化に向けた事前

予定である。

ごみの分別品目の統一な

働した現在の環境事業セ 議員 昭和六十三年に稼

うことが位置づけられた。 域の焼却施設の役割を担

を一市!

一町で締結したい

十九年度までにごみ処理

広域化計画を策定するが 十七年度は一市二町での

## 焼却施設の建設は平塚市へ位置づけ



老朽化の進む環境事業センタ

# 目地区にエコミュージアム構想

定されていた。しかし、

の発掘や保管整理の事務

は閉館となり、解体が予

塚市食肉センターの閉場

に伴い、旧平塚食肉会館

を検討してきたが、平成 け、市はその利用方法等

七年八月に埋蔵文化財

由を伺いたい。

真田・北金目地区

する考え方について聞き

「学習の場」として活用 文化財の保管だけでなく、

助 役

設置予定の資料展

示室は、保管のほか、

肉会館を移転先とした理 地元説明を行った。旧食

ある。

旧食肉会館を埋蔵

館を移転先としたもので 生じたことから、この会 土遺物を移転する必要が

議員 十三年度末の旧平

地元からの存続要望を受

所として利用したい旨

蔵文化財の保管等に活用

旧食肉会館

の埋蔵文化財発掘調査・ 

ら施設を改修する必要が

廃棄の留意事項を示した。

できるようにしている。

ージから両省にアクセス

スベスト含有家庭用品の 公表を受け、環境省はア

かの課題があるが、 ある。有効利用には幾つ

解決

整理事務所で保管する出

## 圏を構成する地域の人々 「ある一定の文化 市民と協 に計画されていると聞く 働で事業を推

進していく考えなのか。 整備し、また里山を再生 用により水生植物を育成 廊や歴史回廊、花畑等を 然環境を散策する自然回 が、市ではこのエコミュ する考えである。この事 して、湧水や休耕田の活 ージアムをどのように推 旧跡・文化財・自

て、 たいと考えている。 民主体の運営を基本とし 働事業として進めていき 主体の地域を創造する協 とも連携しながら、市民 地元の大学や企業等

市長 この事業は、ソフ 内体制を聞きたい。 事業を推進するための庁 トとハードの両面からの 議員 エコミュージアム

(5)

義されているエコミュー

目的とする博物館」と定

の発展に寄与することを

によって、その地域社会

ある。 要であり、平成十七年八 調整を行っている段階で 後の進め方については、 会を設け、推進していく 社会教育部が中心となっ ことが決定している。今 月に企画部、都市政策部、 て庁内八部一一課で検討

進

考えなのか聞きたい。 事業の推進を図っていき をどのように位置づける 市総合計画に位置づけ、 議員 市では、この事業 (仮称) 次期平塚

助役埋蔵文化財の保管・

有効活用を先行して

いき

い。今後は、地元住民

考え方を聞きたい。 物の改修が必要と思うが、 車場・駐輪場の整備や建 議員 有効活用には、

元要望である既存施設のも困難と考えるため、地また、検査場跡地の買収

展示場所、整理事務所と

して活用するためには、

地域住民にも配慮しなが

進めたいと考えてい 等関係者に説明しながら

万策を計画している。

と考えている。また、十 計画を並行して策定する 社会形成推進地域計画お を申請するための循環型 よびごみ処理広域化実施 八年度からは国の交付金

助役建設地が決定して と判断した以降の市の考 くが、北豊田など三か所 補地に挙がっていると聞 設地として大神地区が候 の候補地での建設が困難 議員 次期焼却施設の建

までには、環境アセス調 **ሙ設が老朽化しているこ** ハ年を要すること、現有 環境部長 目標年度を三

査や建設工事などで五、

から焼却施設が稼働する

え方を聞きたい。

を行っているが、ごみ排 出量の目標値を聞きたい。 棄物処理基本計画の改訂 排出抑制が重要となる。 減するためには、ごみの 議員 環境への負荷を軽 **本市では今年度、一般廃** 

出抑制目標値としている。 年間五〇〇〇、以上を排 度の排出量の五%以上、 十二年度として、十六年 と話し合いを始めている やかな移行が望まれるこ となどから判断し、現在、 員会ならびに大神自治会 大神地区環境改善対策委

理広域化の実現可能性の

助役 平成十八年三月末

までに事務事業の広域化

西ブロックでは、ごみ処 するごみ処理広域化湘南

を伺いたい。

実現に向けた今後の予定 議員 ごみ処理広域化の の協議を行っている。

一宮町の一市二町で構成 平塚市・大磯町・

協議や調査を進め、人口

や焼却量の多い本市が広

推進のための基本協定書

行っている。また、過去 現場で除去活動の監視を き付けアスベストの解体 環境部長 本市では従来 から、一定規模以上の吹 にアスベスト製品を製造

住民等の健康被害を防止 平成十七年十一月からは、 調査も実施した。さらに 大気中のアスベスト濃度

と、また、新施設への速 アスベ

# ごみ排出抑制目標値

)た事業所の敷地境界で

議員 アスベストの吸引 スト問題 健康被害防止 の対応

うに対応しているのか。 置した。本市ではどのよ アスベスト対策会議を設 が肺がん等の原因となる ことから、県は神奈川県 ている。

結果を聞きたい。

件を対象に調査を行い、 方景以上の建築物七一三

た。なお、吹き付けアス

含有家庭用品の廃

環境部長 経済産業省の の対応を聞きたい。 品の廃棄についての本市

**ルるため、市のホームペ順次新たな情報が提供さ** 

行う考えである。また、 では状況に応じた対応を

へ国等と協定を締結 実態把

11 11 25 18

定例市議会初日 議会運営委員会

"

教育民生常任委員会

議会運営委員会

12.20 議会運営委員会

12.14 環境厚生常任委員会

握や指導を連携して行っ するため、国や大気汚染 と協定を締結し、 防止法を所管する県・市

ベスト使用状況に関する 議員 民間建築物のアス 国から依頼された調査の

から平成元年までに市内 **環境部長** 昭和三十一年 で施工された一〇〇〇平

平成十七年十一月末現在 で約五五〇件の回答を得

去等の措置方法や維持管 明した建物所有者に の所有者には継続し の所有者には継続して調っている。また、未回答 理に関する情報提供な スト使用の可能性

議

会

12 9

誌

12 13

"

都市建設常任委員会 総務経済常任委員会 議会運営委員会 定例市議会五日目

までに除去する予定を のアスベストは、いつ頃使用が判明した市の施設 議員 本市の調査により 査を実施していく。

12·8 定例市議会四日目12·6 定例市議会二日目

12 27

議会報編集委員会

議会報編集委員会

"

定例市議会最終日

使用されている博物館等 環境部長 アスベストが か伺いたい。

"

議会運営委員会

ト等六〇八品目のアスベ

破損しなければ環境に影 1:20 議会運営委員会

響がないため、環境省が

正式な処分方法を示すま

スト含有家庭用品を公表

したが、これらの家庭用

の四施設は、十七年度中 に除去等の処置を行う予

## 月

に経済産業省が電気ポッ 議員 平成十七年十

### され次第、予算措置をし たいと考える。 周辺の跡地等含

用を検討すべきと考える なく、食肉センター が見解を聞きたい。 改めて旧食肉会館の再利 肉衛生検査場の跡地 奈川県の施設である旧食 めた全体構想を策定し 全体利用の検討 旧食肉会館だけで も含 を れる機会はあるのか。

会を通して本市の考えを 参加意欲が高まるような

旧平塚食肉会館(寺田縄)

ている。

は地元住民の利用も考え

助役 厳しい財政状況下

解体費用の捻出は難しい。では、旧食肉センターの

ている。また、会議室等 等の場とすることも考え 民への公開や講座、学習

> 花と緑のふれあいセンター(仮称) 県がPFI手法での実施方針を公表

平成十七年十月、 等についても、県や市と 地元の代表者で協議する 整備完了後の住環境問題 機会を設けることを検討

募がなかった場合の対応 をどのように考えている 議員 県では事業者の応

経済部長 平成十七年十 のか聞きたい。 加した。県は事業者の応 ○社を超える事業者が参 見学会と説明会には、四 月に県が開催した現地

### を明らかにした。平成十 者として経済部長が委員 成される。本市からも地 学識経験者と県職員で構 会が行う。この審査会は、 県PFI事業者選定審査 は、県が設置する神奈川 経済部長 事業者の選定 市が、県へ要望を申し入 までに事業地域である本 施設整備・運営等事業の 県は神奈川県立花と緑の となっており、この審査 兀自治体関係の学識経験 八年十一月の事業者決定 実施方針を公表し、PF ふれあいセンター(仮称) 手法による事業内容等 している。 環境づくりに努めるなど、 を実施し、応募しやすい 事業者との意見交換会等 するとしているが、今後、 募がない場合には、改め て事業の実施方法を検討